

事例番号:370227

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 35 週 0 日 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、一過性頻脈消失あり

妊娠 35 週 1 日 胎盤機能不全症疑いのため入院

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 36 週 5 日

20:30- 陣痛開始

妊娠 36 週 6 日

6:15 頃- 胎児心拍数陣痛図で高度変動一過性徐脈の出現あり

6:23 頃- 胎児心拍数陣痛図で高度遷延一過性徐脈から胎児心拍数基
線 65 拍/分前後の胎児徐脈の出現あり

6:33 胎児機能不全のため、吸引分娩 1 回施行し児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:36 週 6 日

(2) 出生時体重:1800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.12、BE -6.4mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 4 点、生後 5 分 7 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

分娩当日 早産児、低出生体重児

(7) 頭部画像所見:

生後 22 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め低酸素性虚血性
脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ: 助産師 3 名、看護師 5 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、入院前日の妊娠 35 週 0 日までに生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血によって中枢神経系障害をきたし、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考える。
- (2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。
- (3) 胎盤機能不全が脳性麻痺発症の背景因子である可能性がある。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

- (1) 外来における妊娠中の管理は一般的である。
- (2) 妊娠 11 週 1 日に無痛分娩に関し書面を用いて説明し同意を取得したことは一般的である。
- (3) 妊娠 35 週 0 日に超音波断層法で胎動が少なく胎児心拍数陣痛図で基線細変動が少ないと判読し、入院を勧めたことは一般的である。
- (4) 妊娠 35 週 1 日に胎児心拍数陣痛図で基線細変動乏しく一過性頻脈なしと判読し、胎盤機能不全症疑いのため入院管理としたことは一般的である。
- (5) 妊娠 36 週 4 日までの入院中の管理 (ノンストレス 2 回/日実施、ドップラ法による胎児心拍数聴取 2-3 回/日実施、超音波断層法による脳・臍帯血流および推定体重の確認) は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 36 週 5 日、破水後の対応(分娩監視装置装着、内診、超音波断層法実施、血液検査、抗菌薬投与)は一般的である。
- (2) 妊娠 36 週 6 日、胎児機能不全のため吸引分娩を選択し児娩出としたこと、吸引分娩の要約を満たしていること、およびその実施方法(実施回数・総牽引時間)は、いずれも一般的である。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

- (1) 出生後の対応は一般的である。
- (2) 当該分娩機関小児科入院後、呼吸障害、筋緊張低下、低出生体重児のため精密検査と治療が必要と判断し A 医療機関 NICU へ搬送したことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

- (1) 保護者の意見からは、当該分娩機関の対応に対する不信、不満があると思われるので、十分な説明を行う体制を整えることが望まれる。
- (2) 事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期に中枢神経系障害を発症した事例について集積し、原因や発症機序について、研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

胎児期の中枢神経系障害発症機序解明に関する研究の推進および研究体

制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。